

お客さま各位

原料費調整制度に基づく平成30年10月検針分のガス料金について

吉田ガス株式会社は、原料費調整制度に基づき平成30年10月検針分の単位料金を1m³につき12.54円(税込)調整させていただきます。この調整により、標準的なご家庭(1か月に23m³ご使用)で平成30年9月検針分に比べ、25円(税込)ガス料金の値上げとなります。
なお、今回の調整は平成30年5月から平成30年7月の平均原料価格に基づくものです。

平成30年10月検針分に適用される料金表
一般ガス供給約款における料金表 (45Mj) (税込)

	料金表A 0～9m ³	料金表B 9～23m ³	料金表C 23～62m ³	料金表D 62～151m ³	料金表E 151m ³ ～
基本料金	919.08円	1,512.00円	1,620.00円	1,814.40円	1,846.80円
平成30年10月従量料金	252.41円	190.56円	186.06円	182.94円	182.73円
平成30年9月従量料金	251.29円	189.44円	184.94円	181.82円	181.61円

標準家庭における当月ガス料金 (税込)

	平成30年10月	平成30年9月	増減額
1ヶ月あたりガス料金	5,894円	5,869円	25円

注) 1. ガス料金(早収料金) = 基本料金 + (従量料金 × ご使用量) 1円未満端数切捨
2. 標準家庭での使用量は、23m³/月(当社の家庭用平均使用量)として算定しています。

原料費調整額の算定 (平成30年10月検針分)

基準平均原料価格	41,570円/t	平成28年10月～平成28年12月期
LNG輸入価格平均値(貿易統計値)	55,700円/t (10円未満 四捨五入)	平成30年5月～平成30年7月期
プロパン輸入価格平均値(貿易統計値)	61,560円/t (10円未満 四捨五入)	平成30年5月～平成30年7月期
平均原料価格	57,340円/t (10円未満 四捨五入)	= LNG輸入価格平均値 × 0.9771 + プロパン輸入価格平均値 × 0.0474
原料費変動額	15,700円/t (100円未満 切り捨て)	= 平均原料価格 - 基準平均原料価格
原料価格が1トン当たり100円変動した場合のガス料金1m ³ 当りの価格変動額	0.074円/m ³	45MJ
平成30年10月検針分 調整額(税込)	12.54円/m ³ (小数点第3位切り捨て)	= 15,700 × 0.074円 ÷ 100円 × 1.08(税込)
対前月 調整額(税込)	1.12円/m ³	= 当月調整額 - 前月調整額

注) 1. 原料費調整制度とは、経済情勢の変化を迅速に反映した料金とするため、原料費の変動に応じ毎月料金を見直す制度です。
2. 基準平均原料価格は平成28年10月～12月期の輸入液化天然ガス価格(40,560円/t)、輸入液化プロパン価格(40,920円/t)に上記平均原料価格と同様の係数を乗じております。

以上